

# 仙台市子ども読書活動推進計画2024(中間案)【概要版】

**計画策定の趣旨等** 「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく市町村子ども読書活動推進計画として、「仙台市子ども読書活動推進計画(第三次)」を引き継ぐもの。本市における子どもの読書活動推進に関する基本方針と、その達成に向けて講ずるべき施策の方向性を示し、市全体で子どもの読書活動を推進していくため策定する。

**計画期間** 令和6年度から令和10年度までの5年間

## 現行計画期間(平成29年度から令和5年度)における取組状況

家庭

- ① 乳幼児の保護者向けブックリストの活用促進
- ② 様々な機会を活用した家庭での読書習慣のきっかけづくり
- ③ 家族と一緒に読書し、同じ話題を共有する「家読(うちどく)」の推進

学校

- ① 読書習慣の確立とアクティブ・ラーニングの視点からの読書指導の充実
- ② 学校図書館活用を推進していくための体制の充実  
・学校図書館運営モデル校事業【新】  
・「せんだい電子図書館」の特別利用ID配付【新】
- ③ 読書指導に関する教職員の意識と能力の向上

※【新】は平成29年度から令和5年度に新規に開始した事業

地域

- ① 市民センターにおけるボランティア養成等の推進と子ども向け事業の充実
- ② 児童館やのびすくなど子育て支援施設における事業の推進

図書館

- ① 家庭・地域・学校との協働による家庭での読書習慣のきっかけづくり  
・学校貸出図書配送サービス【新】  
・読書通帳【新】
- ② ヤングアダルト世代への読書支援
- ③ 子供図書室の機能の充実
- ④ 障害のある子どもの読書を助ける資料の収集と貸出の充実
- ⑤ 乳幼児の保護者向けブックリストの活用促進(再掲)

## 現状と課題

- ・図書館における子ども1人あたりの蔵書冊数や貸出冊数は、概ね増加傾向となっている。
- ・1日に30分以上読書する子どもや、図書館へ月1回以上行く子どもの割合は、減少傾向となっている。
- ・1か月に1冊も本を読まない子どもの割合(不読率)は、学校段階が上がるにつれて高くなっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小を余儀なくされた事業もある中、今後は参加者数の回復を目指しながら、広報の工夫やより効果的な啓発方法を探るなど、発達段階に応じて読書習慣の定着に向けた取組を継続・強化する必要がある。

子ども自身が読書の楽しさを知ることに加えて、保護者や教員をはじめとした周りの身近な大人の理解と支えがあり、更には市民一人ひとりが子どもの読書活動の意義を共有することが必要。



子どもが他者と関わりながら生活の中で読書に親しみ、読書体験を通して心豊かに、しなやかに生きる力を育むことができる環境をつくる

計画の目的

基本的方針

重点的な取組



### □ 方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供

子どもが読書の楽しさ、大切さを知ることができるよう、家庭・地域・学校・図書館等といった身近な場所において、子どもが読書に触れ、親しむことができる機会を幅広く提供していきます。また、子どもの発達段階に応じた読書活動支援を行い、子どもが読書を継続的に楽しむことのできる力を育て、不読率の低減を目指します。

乳幼児が本に触れるきっかけづくり  
乳幼児や妊娠期の親に対する読書支援等

小学生までの子どもに向けた家読の推進  
家読に向いている本の紹介や情報発信、啓発等

多彩な読書活動の推進【拡充】  
読み聞かせ、読書会等様々な形の読書活動促進等

中高生(ヤングアダルト世代)への読書支援  
参加型事業等の実施、図書館の利用案内等

### □ 方針2 子ども読書環境の整備・充実

子どもが興味を抱き、感動をおぼえる良質な本を身近に整える等、デジタル社会への対応を含めた読書環境の整備・充実を図ります。また、バリアフリー資料の収集、整備により、多様な子どもたちの可能性を引き出すための読書機会の確保に努めます。さらに、学校の教職員や地域の施設の職員、ボランティア等、子どもの読書活動を支える人材の育成や活動の支援に取り組みます。

デジタル社会に対応した読書環境の整備【拡充】  
学校図書館の情報化の推進等

多様な子どもたちの可能性を引き出すための読書機会の確保  
障害の有無や母語とする言語に関わらず読書に親しめる環境整備等

子どもの視点に立った読書活動の推進【拡充】  
子どもの希望を反映した図書の整備等

### □ 方針3 子ども読書に関する理解の促進

子どもの身近にいる大人に対し、児童書や子どもの読書に関する活動等の情報を幅広く提供するとともに、本計画の周知を行い、子どもが本を読むことの意義や大切さについて啓発を図ります。また、子どもだけでなく大人も読書に親しめる環境づくりを通して、子どもの読書活動に対する理解を深め、社会全体で子どもの視点に立った読書活動を支える気運を高めます。

保護者の理解促進【拡充】  
保護者に対する読書の意義の情報発信等

子ども読書の日(4月23日)等の推進【拡充】  
子ども読書の日周知やイベントの実施等

### □ 方針4 家庭、地域、学校、図書館、ボランティアなどの連携・協力

家庭、地域、学校、図書館、ボランティア等、子どもの読書活動を取り巻く様々な主体が相互に協力し、連携を図りながら計画を推進します。

子ども読書活動についてのホームページの一元化【新規】  
関係機関のホームページの一元化

推進体制

庁内関係部署から構成される「仙台市子ども読書活動推進会議」において総合的かつ継続的に推進していく。